

わかりあえる 認め合える
わたしたちが創る男女平等社会

男女共同参画推進
せんだいフォーラム 2019



若者のための
市民活動体験 2019



「イコールネット通信」

2020. 1 Vol. 31

目 次

- ★男女共同参画推進せんだいフォーラム 2019
展示とトーク
震災を伝える女性たち-「ししゅう」と「写真」を通して-
- ★報告「仙台に暮らす女性の現状と課題」
- ★若者のための市民活動体験 2019
- ★お知らせ

展示とトーク

震災を語り継ぐ女性たちー「ししゅう」と「写真」を通してー

イコールネット仙台主催の「ししゅうで伝える『わたしの物語』-東日本大震災の記憶-」に参加した受講生の作品とフォトボイス・プロジェクトメンバーによる写真と声の展示、そして、それぞれの作者たち6名のトーク。

震災から9年、経験と記憶を伝えることの大切さを改めて実感した時間でした。

日時：11月23日（土・祝）13:30～16:00

展示：11:00～13:30/トーク：13:30～16:00

会場：エル・パーク仙台ギャラリーホール

<語る人たち>

☆「ししゅうで伝える『わたしの物語』-東日本大震災の記憶-」受講生

・庄子 千枝子さん ・中島 はつ子さん ・平井 佳代子さん

★フォトボイス・プロジェクトメンバー（ニックネーム）

・うさぎさん ・ラマラマさん ・よしみさん

「ししゅうで伝える『わたしの物語』-東日本大震災の記憶-」講座受講生



庄子 千枝子さん

「貞山掘りと灯ろう流し」

夫と二人で毎年灯ろう流しをした頃を思い出して制作した。夫は作品を制作中に亡くなった。新築した家で、震災前に一緒だった人たちと「お茶っこサロン」を開催している。生前は夫も応援してくれていたの、みんなに支えてもらいながらこれからも続けていきたい。



中島 はつ子さん

「感謝」

自宅が津波で被災し、避難所で3ヶ月、仮設住宅で2年暮らした。仮設住宅で母の介護をして大変だった。その時にボランティアの方にももらった毛糸や布で編みぐるみを作るようになり、それを作品にした。いろいろ考えると不安ばかりだったが、作品を作っていると癒された。



平井 佳代子さん

「紅茶の思い出」

最初、私は家族も家財も無事だったので多くを失い心身ともに傷ついた人たちと一緒に作品づくりをしてみたいなと思った。図案づくりに悩んだ末、震災前に貞山掘りの岸辺でイギリス雑貨とカフェをしている酒屋さんに行った時の記憶を作品にした。その後、自分で被災地通信を発行して被災地の生の情報を発信したところ、支援物資のお願いなどにも多くの反響があった。

登壇くださったフォトボイス・プロジェクトの3名の方々の「写真」と「声」については、その写真が掲載されている冊子から、「声」のみを以下に記載させていただきました。

ラマラマさん

<母乳>

あの日のあの日の避難所で、
水も食料もない中
私のおっばいは、大活躍
一歳の我が子…そして
みずしらずの小さな赤ちゃん…
…飲んでくれてありがとう
(宮城県 2014年)

うさぎさん

<寄り道したの？ 支援された物資？>

賞味期限 2011年11月までの非常用クッキーとカンパン
手に届いたのは、賞味期限まであと1ヶ月残すのみ
どうして今ごろ届くの？
どうして、賞味期限が過ぎた今でも私は捨てられないの？
被災地は、ただただ感謝感謝であふれているのだろうか？
自問自答して、言葉を探すのは私だけだろうか
(宮城県女川町 2014年)

よしみさん

<希望？>

原発が爆発したため、住民は津波に襲われた人を救出することも出来ずに、逃げなければならなかった。
今は瓦礫に覆われて荒涼とした死の世界
その中に小さな物が動いている！消防隊員も捜索犬も喜んで駆け寄り瓦礫を除いて助け出すと、それは小さな生き物…タヌキだった。そんな話を急ごしらえの慰霊碑と幟と希望のヒマワリが植えられている浜で聞いた。私は思う、命は歓び 希望！ 命を育まなくなったこの地に それでも人々は希望を求めずにおれない。
(福島県南相馬市 2011年7月)



【参加者の声】

- ★8年前の震災による津波の現実と南相馬の福島原発の実情を伺い改めて考えさせられました。8年経っても精神的な傷は直っていないのが実感です。
- ★震災のことを記録して話して伝えること、とても大事だと思います。
- ★みなさんと話し合いができたことが良かったです。涙することたくさんありました。がんばって生きていきたいと 思います。
- ★8年も過ぎてしまった～改めて考えてみて、今になって言えたこと(話ができた)ことに感謝しています。思い出しながら話をしてくださった方々、つらい事をお話してくれてありがとうという気持ちです。

若者のための市民活動体験 2019

仙台市内の大学の協力を得て、大学生が男女共同参画をすすめる市民活動グループ・団体の活動を体験する「若者のための市民活動体験」事業も今年度で10年目に入りました。今年度も例年に引き続き、東北福祉大学、東北学院大学、仙台白百合女子大学、宮城学院女子大学の各大学の先生方に協力いただきました。学生の受け入れに手を上げてくださったグループ・団体は16団体。10月～12月の期間、計36体験に学生たちがそれぞれの希望に沿って参加してくれました。

・・36 体験の内容はさまざま・・

例えば・・<NPO 法人せんだい杜の子ども劇場>児童館のイベント（ハロウィン）のお手伝い、<戦争への道を許さない女たちの仙台の会>「映画『日本国憲法』世界から見た日本国憲法」DVD上映会、<みやぎの食を伝える会>みやぎの郷土食についての講話と調理実習、<セクシュアリティと人権を考える会>「LGBTsと地域」をテーマに講話と意見交換 等・・・・・

イコールネット仙台の体験は……

① 災害をたくましく乗り切るために

サバ飯(サバイバル飯)づくりワークショップ

災害時、特に重要になる「食」について、日常に常備している食材を使っでの災害食づくり。参加者は17名。イコールネット仙台の理事の菅野澄枝さんを講師にじゃがりこを使っでのポテトサラダ、水を使わないチヂミなど学生たちは熱心に参加してくれました。



②防災ワークPlan・Do セミナー

地域の防災力を高めるために、身近な視点で防災ワークショップを企画実施。東北大学院生の吉野恭介さんを講師に参加者5名で企画を考えました。2月8日、北仙台地区町内会で実施の予定。



③「フラワーデモ仙台」の実践から考える社会への発信

性暴力問題に声を上げた人たちが全国で毎月11日に行っているフラワーデモ。仙台でフラワーデモを主催している現役大学生「FLOWER DEMO SENDAI」代表の益子実香さんを講師に座談会を開催(公開)。



「仙台に暮らす女性の現状と課題」調査

誰もが幸せになれる男女共同参画社会の実現をめざして

現在、仙台市では「男女共同参画せんだいプラン 2016」（平成 28 年度～平成 32 年度）の見直し作業がすすんでいます。イコールネット仙台では、仙台に暮らす「子育て中の女性」「高齢女性」「非正規職の単身女性」を対象に、それぞれの現状と課題を明らかにし、政策提言としてまとめることとしました。このたび、その結果が以下の通りにまとめ、1月16日（木）に仙台市男女共同参画課に調査結果をまとめた報告書を提出し、次期プランに反映されるよう要望しました。

=調査結果のキーワード=

仙台に暮らす子育て中の女性の現状と課題－41名の聞き取り調査から－

《現状と課題》

- 育児休業取得は女性が中心
- 家事育児は妻がメイン
- 夫の「転勤」をめぐる妻たちの現実
- 妻たちの働き方－キャリアを活かす・活かさない
- 子育て世代の「親の介護」への不安
- シングルマザーのインタビューから・・・

仙台に暮らす高齢女性の現状と課題－42名の聞き取り調査から－

《現状と課題》

- 家庭責任は女性の役割・夫との関係
- 母親役割を担女性たち・・・その先に 8050 問題が
- 住まいとお墓
- 経済面・健康面での不安
- 経験・知恵を次世代へ

仙台に暮らす非正規職の単身女性の現状と課題－28名の調査から－

《現状と課題》

- 非正規である理由
- 雇い止め
- 転職
- 不安定雇用
- ダブルワーク
- 介護
- ワーク・ライフ・バランス
- 老後
- 将来への不安

河北抄

男女共同参画社会の実現を目指し、2003年から活動するNPO法人「イコールネット仙台」が、仙台市に暮らす女性の現状と課題を調査した。

「夫は子どもと朝、会うだけ。平日のサポートは期待できない」「正規雇用で安定して働きたい」「40代の娘に自立してほしい。自分たちがいなくなったらどうなるのか不安」。聞き取りやアンケートを通じ、子育て中、非正規雇用の単身者、65歳以上の111人の声を集めた。

妻たちは夫の転勤や子育て、介護など家族の状況に応じて退職・転職し、自分の人生は二の次になっている。女性活躍が叫ばれても、正規雇用の求人が少ない。そんな実態が浮かび上がった。

世界経済フォーラムが先月発表した男女格差報告によると、日本の男女平等差は153カ国中121位と過去最低。男女共同参画法が施行されて20年がたっても、社会のありようは変わらない。

だが、ぼやいてばかりでは何も始まらない。調査結果を踏まえ、イコールネット仙台は実効性ある施策を求め、近く仙台市に政策提言する

報告とシンポジウム 人間の復興はすすんでいるか —被災地の女性たちは「今」—

震災から9年、被災地の女性たちの努力と取組は、様々な地域に多くの変化をもたらしました。岩手・福島・宮城において支援活動に取り組む3名の方々の報告を通して「よりよい復興の姿」を考えます。

日 時：2020年3月15日（日）13:00～16:00
会 場：エル・パーク仙台スタジオホール

パネリスト 高橋 福子さん <エンパワメント11（い）わて>
遠野 馨さん <NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島>
高橋 有香里さん <支援者ピアネットてらこや>

.....

ししゅうで伝える「わたしの物語」—東日本大震災の記憶—<展示予定>

☆仙台市生涯学習支援センター1F 展示フロア <3月3日（火）～17日（火）>
☆宮城野区文化センター1F ロビースペース <2月28日（金）～3月1日（日）>

.....

2020年度総会開催のご案内

日 時：2020年5月17日（日）15:00～17:00
会 場：エル・パーク仙台 セミナーホール2
・総 会
・調査報告「仙台で暮らす女性たちの現状と課題」



平沢きょうさんがご逝去されました

イコールネット仙台の前身である「わたしたちの女性センターを実現する会」の立ち上げ、その後のイコールネット仙台の設立と様々にご尽力くださいました。また、多くの市民活動にも力を注がれ「人権尊重」を軸に一生をまっとうされた方でした。

心よりご冥福をお祈りするとともに、平沢さんの志を受け継ぎ、これからも男女共同参画の推進に向け、活動をすすめてまいります。

発 行 特定非営利活動法人イコールネット仙台
発行日 2020年2月
連絡先 TEL・FAX 022-234-3066